

## ロボットテクノロジー ジャパン 2024 出展のご案内

拝啓 貴社益々ご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。また平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。この度弊社は、愛知県国際展示場にて開催される「ロボットテクノロジー ジャパン 2024」に出展する運びとなりました。

貴社におかれまして、今後の製品開発、生産性の向上、情報収集等にお役立て頂きたく、当展示会のご案内をさせていただきます。何卒ご来場の程、宜しくお願い申し上げます。 敬具

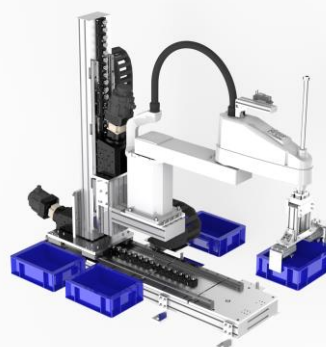
- 会期 : 2024年7月4日(木) ~ 7月6日(土)
- 開催時間 : 10:00 ▶ 17:00 (最終日は16:00まで)
- 出展ブース: Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場) D15

### 展示テーマ：ロボット周辺向け三共ポジショナ提案

三共製作所はロボット周辺機器として、直動系、回転系のカム式位置決め装置を提案します。

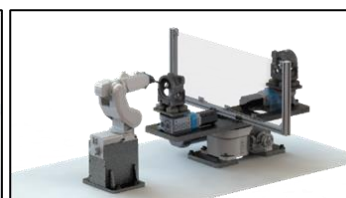
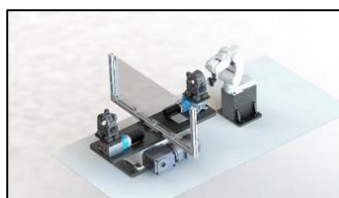
#### ■ ライナーユニット ロボット付加軸デモ機

直動系『ライナーユニット』は、多関節ロボットやスカラロボットの昇降軸、走行軸としてロボットの可動範囲を大幅に拡大可能。更には、ロボット外部に直動軸が追加されることで、多段設備で類似動作をさせる際のロボットティーチングを簡略化。高速・高精度に位置決め可能なライナーユニットだからこそ実現可能な構成である。本展示会では、スカラロボットに昇降軸、走行軸を追加し、ロボット単体では実現不可能な動きを実機にて提案。



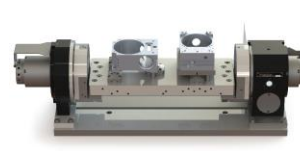
#### ■ パレチエン自動化設備イメージデモ機

回転系『ローラドライブ』は、多関節ロボットによる自動化が進む、バリ取り、溶接、レーザー加工、塗装、外観検査などのワークポジショナとして活躍中。また、ステーションの反転動作にはカムによる信頼性の高い位置決めが可能な『SANDEX』を提案。これらを組み合わせ、バリ取りの自動化設備をイメージした動作デモ機を展示。



#### ■ #30MC 向け 自動化対応 CNC 円テーブル

部品加工の自動化提案では、ロボットでの自動着脱に対応した、ロータリージョイント最大12ポートを搭載する円テーブル RSR シリーズを展示。



カム式直動機構『ライナーユニット』は、従来のボールねじ、ラック&ピニオンといった機構に代わる、高速・高精度な直動位置決め機構である。

ゼロバックラッシュポジショナ『ローラドライブ』は、サーボモータの指令を忠実に出力する精密減速機。ワークやテーブルなどを高速・高精度に位置決めする。

カム式割出装置『SANDEX』は、サーボモータ不要で簡単制御、信頼性の高い割出が可能。2ストップ仕様はテーブル180°反転の駆動として最適。

小型マシニングセンタ向け CNC 円テーブル『RTG/RSR シリーズ』は、加工機の自動化において必要不可欠なロータリージョイントを最大12+1ポート用意。加工ラインの自動化に貢献。